

単位数	2	学科（型） 学年	建設工学科（建築型） 2年	教科書 副教材等	自作教材
学習目標		・産業現場などで、自分の学習内容や興味・関心・進路などに関連した就業体験を行う。また、職業適性や将来設計について考える機会を与え、主体的な勤労観・職業観を培う。 ・2級建築施工管理技術検定試験に向けて専門的な知識や技術を身に付ける。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	・インターンシップの意義について ・2級建築施工管理技術検定試験 1 給排水・衛生、空調について 2 電気・照明 3 防火・防災 4 積算・測量・舗装			・インターンシップを通して産業や職業の現場を知ること、自己の将来の生き方や進路を考えるとともに、望ましい勤労観や職業観について考える。 ・快適な室内環境をつくり出すために重要な建築設備を学習する。各設備に関する基本的な事項を十分に理解し、合理的かつ効果的に計画できるようになる。	
2	5 施工管理の概要・事前調査 6 施工計画 ・インターンシップ先の調査・研究 ・インターンシップ先の決定 ・インターンシップの事前指導と準備 ・2級建築施工管理技術検定試験 7 申請・届出 8 工程計画・工程管理			・建築物を決められた工期・工費内で、安全に完成させるための施工計画・管理について学習する。 ・自分に適している職業や将来の設計について考え、調査する。 ・自分に適している職業や将来の設計について考え、調査・研究し受入れ先を決定する。 ・インターンシップの意義と目的を確認し、安全教育の徹底と就業中の心構えを確認する。 ・工程計画の作成や工程管理の進め方についての、基礎的な知識・技術を身に付けることができる。	
3	・インターンシップ実施 ・インターンシップの事後指導とまとめ ・インターンシップ発表会 ・課題研究のまとめ			・産業界の現場での生きた知識や技術・技能を体験し、学校での学習と産業との関係について考える。 ・インターンシップのまとめと意義を考える。 ・体験したことを発表させ、受入れ企業への感謝の気持ちと今後の学習活動にどのように取り入れるか発表する。	
評価の観点		内 容			
知識・技術		・主体的に作業に取り組むことができる。まとめや発表の方法を工夫し、表現をすることができる。 ・実習等において、身に付けた知識や技術を活用し、表現をすることができる。 ・インターンシップを通して、将来の生き方や進路について深く考え、明確にしようとしている。 ・専門的知識・技術を身に付け、施工技術の意義や役割を理解しようとしている。			
思考・判断・表現		・インターンシップにおいて、安全作業等を徹底して行うことができる。また、日誌を丁寧にまとめることができる。 ・施工技術について考え、また諸問題を発見し、その解決を目指して自ら思考を深め、適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けようとしている。			
主体的に学習に取り組む態度		・自己の将来に関心をもち、インターンシップの準備・実施・まとめに意欲的に取り組むことができる。 ・専門的な知識・技術の習得に意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする実践的な態度を身に付けることができる。			
評価方法	・インターンシップは、「計画書」、「日誌」、「感想文」、「発表」等で評価を行う。 ・学習の状況は、主に「出席状況」、「取り組み姿勢」、「提出物」、「小テスト」により評価を行う。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○分からないことがあれば、積極的に先生や事業所の方に質問をすること。日誌は、丁寧に記録し、学んだことや感じたことを書き留めること。					
○2級建築施工管理技術検定試験の過去問題を解き、専門的知識の習熟度を確認すること。					

